

沖縄総合事務局が「エコ通勤優良事業所認証」を取得しました！

～「エコ通勤」の認証取得をご検討ください～

沖縄県内では、通勤・通学など、日常の移動手段をマイカーに依存する傾向が強く、朝夕を中心に交通渋滞が発生しています。また、マイカー利用はバスの約2.5倍のCO₂を排出するため※、地球温暖化対策の観点からも、過度なマイカー依存からの脱却によるCO₂排出量の抑制が必要です。

さらに、バスやモノレールなどの公共交通はコロナ禍により極めて厳しい経営状況にあり、県民が公共交通を利用することにより、公共交通を支えていくことが必要な状況となっています。

沖縄総合事務局では、自らが率先して職員の「エコ通勤」を実施することで、波及的に企業や県民の公共交通利用に対する意識啓発になると想え、この度「エコ通勤優良事業所認証」を取得しました。

クルマを降りれば、周囲の景色が変わります。自治体・企業・団体の皆様、一緒に「エコ通勤」を始めましょう！

※環境運輸部門における二酸化炭素排出量「2.輸送量当たりの二酸化炭素の排出量」 - 国土交通省

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html

「エコ通勤」とは、「クルマから、環境にやさしいエコな通勤手段に転換すること」です。

事業所や地域で「エコ通勤」に取り組むことにより、従業員の安全確保や健康向上などといったメリットが期待されるとともに、渋滞解消や公共交通の維持など、地域にとってのメリットも期待されます。

「エコ通勤優良事業所認証」とは、エコ通勤に関する取組を自主的かつ積極的に推進している事業所を優良事業所として認証し、登録する制度です。公共交通利用推進等マネジメント協議会（認証制度事務局：国土交通省、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）にて認証・登録を行います。



【沖縄総合事務局の取組】

- ・バス・モノレールをはじめとした公共交通の利用促進や、時差出勤、テレワークの活用
- ・毎月1日・20日の沖縄県ノーマイカーデー前日に、全職員へ公共交通による通勤の呼びかけを実施
- ・自転車通勤者が利用可能な更衣室やシャワールームの設置、臨時駐輪スペースの確保



【「エコ通勤」のメリット】

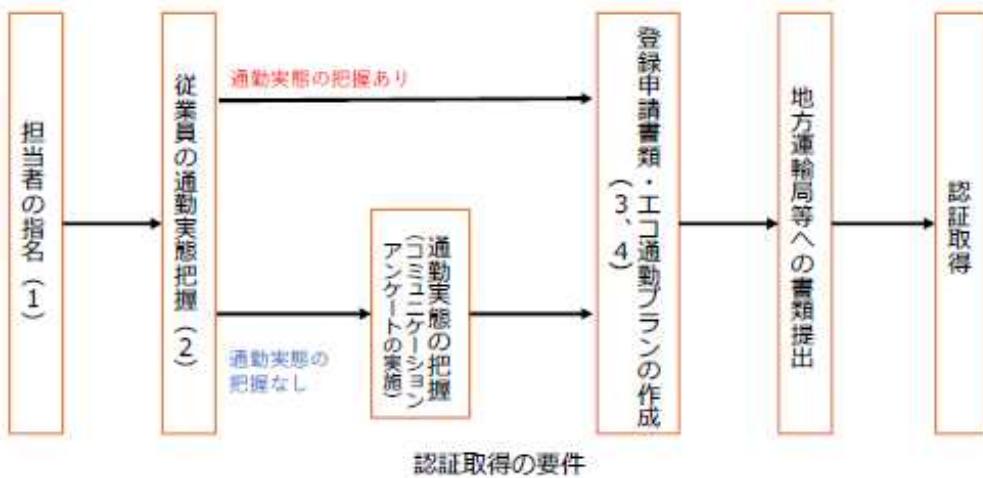
- ・車通勤から公共交通等へ転換することにより、交通渋滞の緩和に繋がります。
 - ・公共交通等への転換で、カーボンニュートラルの実現に向けてCO₂排出量を削減し、地球温暖化対策への取組になります。
 - ・コロナ禍により極めて厳しい経営状況にある公共交通を維持することに繋がります。
 - ・自宅からバス停、バス停から通勤先まで歩くことで、従業員の健康増進に繋がります。
 - ・公共交通機関のサービス水準の向上や、まち歩きにより中心市街地の活性化にも繋がります。
 - ・マイカー通勤者のための駐車場等の経費削減や、私有地の有効利用に繋がります。
 - ・自治体や企業、団体として取り組むことで、イメージ向上や相手先へのPRにもなります。
- （公的な認証により、認証マークを自社のwebサイトや、印刷物等に用いることが出来ます。）

【認証を受けるには】

何らかのエコ通勤に関する取組を実施している事業所ならば、認証を受けることができます。例えば、通勤実態調査（アンケート調査）、パンフレットやメールの配布、公共交通情報の提供、在宅勤務や時差出勤制度、徒歩・自転車通勤者への補助制度の導入、駐輪場や自転車通勤のための更衣室やシャワールームの設置、レンタサイクルの導入、自社所有バスによる送迎、バス事業者への運行委託、相乗り制度の実施、従業員用駐車場の有料化やマイカー通勤の禁止などです。

認証取得には以下の4点の要件を満たす必要があります。

- (1) エコ通勤推進担当者が指名されていること。
- (2) 従業員の通勤実態が把握されていること。
- (3) エコ通勤に関する具体的な取組を実施していること。
- (4) エコ通勤プランが作成されていること。



～まずは沖縄総合事務局運輸部企画室にお気軽にご相談ください！～

電話：098-866-1812 Mail：unyu-kikaku.j2a★ogb.cao.go.jp（★を@にしてください）

（エコ通勤優良事業所認証制度HP）

・国土交通省（エコ通勤ポータルサイト）

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/sosei_transport_tk_000073.html



・公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団（エコ通勤優良事業所認証制度のご紹介）

http://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html



お問い合わせ先

内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室 担当（當眞、安慶田）

電話：098-866-1812

Mail：unyu-kikaku.j2a★ogb.cao.go.jp（★を@にしてください）

エコ通勤優良事業所認証

登録証

登録番号 : 47-0004

登録事業所 : 内閣府沖縄総合事務局

(本局)

上記事業所のエコ通勤に係わる取組みを審査し、認証基準に適合していることを確認したので、登録いたします。

登録日 : 2021年10月29日

有効期限 : 2023年10月28日



公共交通利用推進等マネジメント協議会

会長 森地 茂



公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

会長 岩村 敬



今日の『エコ通勤』推進が、明日の公共交通を支えます。

コロナ禍において、私たちの足となる公共交通はかつてない厳しい状況に置かれています。
『エコ通勤』の推進は、公共交通の現在や未来を支えるという、新たな役割も担っています。

公共交通は、感染リスクが心配？



日本モビリティ・マネジメント会議
安全な公共交通の乗り方
(COVID-19 特設ページ)
<https://www.jcomm.or.jp/covid19/>

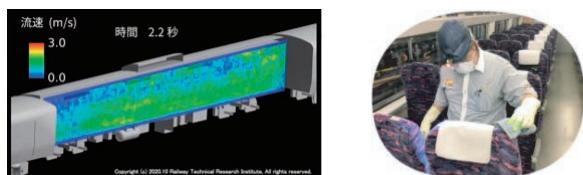


2021年1月現在、電車・路線バスにおいてクラスターの発生は確認されていません。マスク着用、時差出勤、目や鼻・口を触らないなどの安全対策によって、より安心して公共交通をご利用いただけます。

出典：国立感染症研究所「クラスター事例集」

>> 電車・バスでのクラスター発生はこれまで確認されていません。

鉄道・バス事業者のコロナ対策は？



主な鉄道会社のすべてが、換気や定期的な消毒といった感染症対策を実施しています

※日本民営鉄道協会に加盟している大手16社全てで感染症対策を実施
出典：JR東日本(<https://www.jreast.co.jp/stylingthenew/actions/>)

鉄道・バス事業者各社では、感染拡大予防ガイドラインにもとづく感染症対策を日々実施しています。左は、入念なシミュレーションによる換気対策の検証や、定期的な消毒の励行の様子です。

出典：国土交通省 (<https://www.mlit.go.jp/tetudo/content/001350648.pdf>) 左図を含む

>> 公共交通では、入念な研究・検討にもとづく感染症対策が行われています。

コロナ禍で、公共交通が消える？



※JR・大手民鉄の主なターミナル駅における自動改札出場者数より算定
出典：国土交通省鉄道局

上記の取り組みにも関わらず、ある調査では、全国の鉄道・バス事業者の9割が30%以上の売上減となっており、この状況が続けば、2021年度末には半数の事業者が「事業を続けられなくなる」と回答しています。

出典：一般財団法人地域公共交通総合研究所

>> コロナ危機にある公共交通。
『エコ通勤』が、強力なサポートに。

無理のない範囲で、『エコ通勤』への取り組みをご検討ください。



電車



バス



自転車



徒歩



時差通勤



テレワーク

時差通勤や
テレワークなども
『エコ通勤』の
ひとつです。